



一生懸命、一秒

校長 末吉 幸人

「おはようございます」。朝、玄関で生徒を出迎えていると、元気な挨拶が聞こえてきます。初めの頃は、声をかけても素通りしていた児童生徒も少しずつ声を出して挨拶できるようになり、そういった姿を見るとたいへんうれしく思います。このように、たった一秒しかかからない挨拶や言葉が、人を元気にしたり喜ばせたりすることがあります。みなさんは、今から三十年以上前にCMで流された、小泉吉宏氏の「一秒の言葉」という詩をご存知でしょうか。

「はじめまして」 この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」 この一秒ほどの言葉に、人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」 この一秒ほどの言葉で、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」 この一秒ほどの言葉で、しあわせにあふれることもある。

「ごめんなさい」 この一秒ほどの言葉に、人の弱さを見ることもある。

「さようなら」 この一秒ほどの言葉が、一生の別れになるときがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。

一生懸命、一秒。

時間の流れは「一秒」の積み重ねです。これからも、一秒ほどの挨拶や言葉を大切にするとともに、その瞬間を大切に充実した学校生活を送ってください。

各学部より

小学部

3年生は、夏を感じる活動にいっぱい取り組みました。生活単元学習では、大鍋でそうめんを茹でたり、やかんでそうめんを流したりして、流しそうめんを楽しみました。7月の誕生会では、屋外でBBQ大会をしてお祝いをしました。食材が焼けるまで、子どもたちは簡易プールで水遊びを楽しみました。ボランティアさんのご協力もいただき、ウインナーやナゲット、焼きそばなどの準備ができると、期待いっぱい会場に集まる子どもたち。みんなで楽しい美味しい誕生会になりました。終業式には、大玉のスイカを味わいました。



中学部

7月14日に、1年生がテーブルマナー教室を実施しました。徳樹庵で鶏の唐揚げや豚のひれかつランチ、アイスやプリンデザートも選び、ドリンク飲み放題と満足の内容。ボリューム満点で食べきれない生徒もいましたが、ドリンクを3杯も飲んだうえ料理のお代わりはないのかと、食欲旺盛な生徒も。落ち着いた和風の個室で、給食では味わえないもりそばや炭酸飲料を堪能したり、ゆっくり時間をかけて会話を楽しんだり、素敵なひとときを過ごしました。



全校自立活動研修会で

今年度も、昨年度に引き続き『自立活動における教材・教具』と題して、8月9日に所沢おおぞら特別支援学校より畠山和也氏を招いて全校研修会が行われました。発達段階に合わせた認知面での教材教具の考え方や提示方法を教えていただき、その力は日常生活をする上で確かに生きる力としてつなげていくことが重要だと語っていただきました。たくさんの教材を運んでいただき、熱心に丁寧にご説明いただきました。2学期からは、新しい教材をそれぞれの先生方が作成し、子どもたちが目を輝かせて学習に向かう場面が増えていくことと思います。

また、夏休み後半8月28日には、午前中本校の高等部佐々木智史教諭が「身体に対して日常生活の中でできる支援・アプローチ」の研修を、午後には、熊谷特別支援学校より丹羽史和氏をお招きして、「ファシリテーションを活用した自立活動」～知的障害の子供たちが元気に過ごすための身体づくり～の研修を行いました。子供たちが学習に真剣に向かったり、またよりよく生きてするために必要な身体づくりに視点を当てて、実際に体験をしながら研修を重ね、2学期に向けて準備をしました。

